

**聖マリアンナ医科大学とMICIN、患者中心の医療実現を見据え、
ICT技術を活用したDXに関する包括協定を締結
～ 治験や臨床研究、地域医療の実装・検証におけるDXを推進～**

学校法人聖マリアンナ医科大学(所在地:神奈川県川崎市、理事長:明石勝也、以下聖マリアンナ医科大学)と、株式会社MICIN(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO:原聖吾、以下 MICIN)は、患者中心の医療実現を見据えた、ICT技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(以下 DX)に関する両社の協業活動について、戦略的包括協定を締結しました。



聖マリアンナ医科大学
St. Marianna University School of Medicine

MICIN

【協定の目的】

本協定は、聖マリアンナ医科大学とMICINが各々のリソースや強みを活かし、医薬品等の開発における治験・臨床研究領域、並びに専門医療の提供において、ICT技術の活用を通じ、DXの実装および推進をすることで、患者を中心とした治験の実施や地域デジタル医療のモデル作成を目的とします。

また、海外と比べ国内のDXの試みが極めて限定的であるこれらの領域において、両者による先駆的な取り組みを行うことで、国内における標準プロセスの確立および普及への貢献を目指します。

【協定の背景】

ICT技術を活用した医療のDXは、医療課題の解決や治療価値の向上など様々な観点で注目されています。

聖マリアンナ医科大学は、川崎北部地域に根差した中核病院として、患者のみならず地域住民に寄り添い常にしっかり見守ってくれる病院であるべく、ICTをフル活用し、法人内のDXや事業会社との協業による新たなイノベーション創出に積極的に取り組んでいます。

一方で、MICINは「すべての人が、納得して生きて、最期を迎えられる世界を」というビジョンの下、最先端のテクノロジーを使って医療を身近にするための事業を展開するスタートアップ企業です。両者が共通して掲げる「患者に身近な、患者中心の医療」の実現を目標に、協業の検討を進めてきました。

【協業内容】

聖マリアンナ医科大学が有する「医療現場(附属病院・クリニック等)」や地域医療機関とのリレーション、医療業務ノウハウと、MICINが強みとするオンライン診療やeSource等のICT技術を結集することで、治験や臨床研究プロセス並びに専門医療の提供に関するプロセス(地域医療)の実装および

検証によるDXの推進、さらにはDXに関わる標準業務手順書など関連資料の整備を進めていく計画です。

協業の第一歩として、治験におけるオンライン診療の実装や、説明同意プロセスを遠隔で実施するトライアルを既に開始しており、これらの取り組みが順調に進行していることをうけ、包括協定締結について公開いたします。今後も様々なユースケースへの展開を予定しています。

☆☆医薬品の治験における協業事例

MICINの、decentralized clinical trials (DCT)支援システム「MiROHA®(ミロハ)」のオンライン診療機能を用いて、聖マリアンナ医科大学病院腫瘍内科で行っている治験のスクリーニング検査を遠隔で実施する体制を整備しました。

今後、本邦における治験組み入れの一つのモデルケースになることを期待し取り組んでおり、現在治験が進行中です。

[遠隔スクリーニングを取り入れた体制の概要]



両者は、今後も引き続き「患者中心」という共通の視点にて、我が国の治験・臨床研究領域を始めとした医療におけるDX推進を強くけん引すべく、協業・共創を推進していきます。

【学校法人聖マリアンナ医科大学】

法人名: 学校法人聖マリアンナ医科大学

所在地: 神奈川県川崎市宮前区菅生2丁目16番1号

設立: 1971年4月1日(東洋医科大学開学)

代表者: 理事長 明石勝也

建学の精神: 『キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成』

コーポレートサイト: <https://www.marianna-u.ac.jp/>

【株式会社MICIN】

会社名: 株式会社MICIN(読み方: マイシン)

所在地: 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル13階

設立: 2015年11月26日

代表者: 代表取締役 原 聖吾

事業内容: オンライン医療事業、臨床開発デジタルソリューション事業、デジタルセラピューティクス事業、保険事業等

コーポレートサイト:<https://micin.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社MICIN

E-Mail: vct@micin.jp